



「田辺・弁慶映画祭セレクション2025」では、第18回田辺・弁慶映画祭で受賞を果たした若手新人監督にスポットをあて、特集上映を致します。

注目のインディーズ作品を、作り手と、送り手である劇場が手を取り合い、工夫を凝らしたラインナップとともに、今、注目の若手新人監督が自ら全力で臨みます。

是非、この機会に自分の目でインディーズ作品に触れ、評価、評論、そして議論をして下さい。

これからの日本映画界の為に。

田辺・弁慶映画祭セレクション2025

テアトル新宿 2025年5月9日(金)～6月5日(木) レイトショー連日1日1回上映
テアトル梅田 2025年6月20日(金)～6月26日(木) 開催予定 レイトショー連日1日1回上映

『田辺・弁慶映画祭セレクション2025』@テアトル新宿/テアトル梅田
主催：田辺・弁慶映画祭実行委員会/東京テアトル
田辺・弁慶映画祭公式ウェブサイト：<https://www.tbff.jp>

TANABE BENKEI FILM FESTIVAL

第19回

田辺・弁慶映画祭



コンペティション部門 作品募集

オンライン受付!

※要項・詳細は公式サイトをご確認ください。

【募集期間】
2025 4/18(金)▶7/18(金)

映画祭開催日 2025 11/7(金)8(土)9(日)

弁慶グランプリ 賞金 30万円
(キネマ旬報賞も同時受賞)

キネマイスター賞 賞金 5万円
観客賞 賞金 5万円
俳優賞 賞品

《特別設置賞》
映画.com賞 副賞
フィルミネーション賞 海外進出支援10万円分
わいず倶楽部賞 副賞

「テアトル新宿」「テアトル梅田」で上映される作品も!(予定)
あなたの作品が劇場公開されるチャンス!!

田辺・弁慶映画祭実行委員会事務局
TEL.0739-26-9929 [tbff](https://www.tbff.jp)



『 噛む家族 』

多様性の時代、ゾンビという生き方。

人を見ると理性を失い、噛みつき感染させてしまうゾンビの家族。今まで人目につかないよう、家の中から一切出ることなく静かに暮らしていたが、外を知らない娘のために父親は、人間と共存していきたいと考える。

監督・脚本：馬淵ありさ 出演：東 杏璃、阿部能丸、隈坂健太、下東久美子、濱名香璃 プロデューサー：松永 毅 助監督：真田大誠 機材協力：赤瀬駿太 メイク：白田彩純 脚本協力：辻 智輝 制作：齋藤英文、田口ゆたか [49 分] ©テロワールド

★ 全日、日替わり併映作品上映予定 『ホモ・アミークス』（2023 年 42 分）または『山田』（2019 年 20 分）



馬淵ありさ

まぶちありさ

プロフィール

1995 年 5 月 18 日生まれ。フリーランスの映像カメラマン、エディター。2019 年に青山学院大学 総合文化政策学部を卒業。過去作『山田』『ホモ・アミークス』。

本作 受賞歴

2024 年 第 18 回田辺・井慶映画祭

井慶グランプリ・キネマイスター賞・観客賞
フィルミネーション賞・わいず倶楽部賞

2024 年 うえだ城下町 第 22 回自主制作映画コンテスト 大槻貴宏賞 受賞

2024 年 第 25 回 TAMA NEW WAVE「ある視点」部門 入選

DIRECTOR'S
COMMENT

「世論に振り回され立場がコロコロ変わっていく人間と
ゾンビたちを、楽しんで観ていただけたら嬉しく思います。」



『 よそ者の会 』

誰もがカバンに爆弾を忍ばせている。

大学清掃員の鈴木植生は、ある日「よそ者の会」という会合が行われていることを知り、参加することにする。主催者の女子学生・絹子をはじめ、集まるのは鬱屈を抱える「よそ者」たち。それぞれの秘密が交錯し…。

監督・脚本：西崎羽美 出演：川野遼修一、坂本彩音、比嘉光太郎 撮影：松田恒太 録音：色川翔太、大澤愛花 照明：根岸一平 助監督：中江伶乙 演出：小林慶太郎 [42 分] ©HAMI



西崎羽美

にしぎきはみ

プロフィール

2001 年静岡県生まれ。映画美術学校フィクション・コース第 25 期
高等科修了。日本大学大学院芸術学専攻映像芸術専攻在学中。

本作 受賞歴

2024 年 第 18 回田辺・井慶映画祭 キネマイスター賞

2025 年 第 20 回大阪アジア映画祭インディ・フォーラム部門入選

DIRECTOR'S
COMMENT

「こうして多くの方に自分の映画をお届けできること、
とても光栄に思います。楽しんでいただけたら幸いです。」



『 天使たち 』

傷つかにこの世界にいたいなんてできない。

舞台は新宿・歌舞伎町。様々な背景を持つ女の子が働くガールズバーで出会った“なる”と“マリア”。若さを売り、求められる姿を演じ続け、次第に自分が本当に望むことがわからなくなっていく少女たちを監督の実体験を元に描く。

監督・脚本・編集：木村ナイマ 出演：龍村仁美、河野聖香、今田竜人、本田カズ、石井里乃 プロデューサー：荒尾奈那 助監督：望月尋加 撮影監督：鈴木ラファエル 音楽：雑魚ドール 録音：渡邊直人 ヘアメイク：長湯優祈 制作協力：project4 [86 分] ©『天使たち』製作委員会



木村ナイマ

きむらないま

プロフィール

2001 年生まれ、上智大学卒。初監督作『ファースト・ピアス』が
西湘映画祭グランプリを受賞。学生時代にガールズバーで働いた
経験から本作の着想を得た。

本作 受賞歴

2024 年 第 18 回田辺・井慶映画祭 映画.com 賞

DIRECTOR'S
COMMENT

「ただ君がこの世界で何でもやり直して、何でも生き
ようと思えるように、この映画を作りました。
見つけてください。」



『 温帯の君へ 』

君が分からなくなった。君を分かりたいと思った。

大樹と翠は同じ大学に通う恋人同士。ある日二人は気候変動をテーマとした現代アート展を訪れるが、感じ方はまるで正反対。倦怠期に差し掛かって
いた二人の関係は、この日を境に思わぬ方向へと転がり始める。

監督・脚本・編集：宮坂一輝 出演：山下 諒、二田殉乃、さいとうなり、関口渥人、吉田晴登 撮影：石川貴大 録音：onigiri.saburo 助監督：東 響生 美術：侃生-KAN- 衣装：飯田夕佳理 ヘアメイク：皆川 苗 スチール：森本あお [75 分] ©映画『温帯の君へ』制作チーム / TBX Production



『 わたしの頭はいつもうるさい 』

応答せよ、私。

上京した小説家志望の 25 歳“のぞみ”と田舎暮らしの高校生 18 歳“ノゾミ”。それぞれの私が問いかける——「有言実行、東京でバァーっとひと花咲かせたか？」変わりたいのに変わらないもどかしい人生に抗う。夢や目標を抱いたすべての人に贈るクォーターライフクライシスムービー。

脚本・監督・プロデューサー：宮森玲実 出演：宮森玲実、細井じゅん、笠松七海、鈴木卓爾、藤田朋子 撮影・照明・編集：寺西 涼 録音：柳田耕佑、渡邊直人、色川翔太 整音：柳田耕佑 助監督：遠山浩二 制作進行：稲生 遼、中田森也、高橋啓太 車両：佐藤竜介 ヘアメイク：鬼塚千花 音楽：斎藤 大 スチール：三浦 永 宣伝協力：髭野 純 宣伝デザイン：鈴木規子 製作・企画：食卓 [76 分] ©食卓



宮坂一輝

みやさかかずき

プロフィール

1999 年埼玉県出身。東京大学大学院総合文化研究科修士課程卒。
初長編監督作『(Instrumental)』で第 21 回 TAMA NEW WAVE
コンペティション部門にノミネートされ、2022 年に劇場公開を果たす。
本作が長編二作目。

本作 受賞歴

2024 年 第 18 回田辺・井慶映画祭 俳優賞（山下諒、二田殉乃、さいとうなり）

DIRECTOR'S
COMMENT

「大切な人と突然分かり合えなくなる瞬間と、それを乗り越えるまでの過程を描きたいと思いました。あまりにも大きな危機を前に、時にぶつかりながらも前に進もうとする大樹と翠の物語は、きっと私たちの物語でもあります。是非劇場でご覧いただければ幸いです。」



宮森玲実

みやもりれみ

プロフィール

本作監督。俳優。日本大学芸術学部映画学科卒業。コロナ禍より映画製作を開始し、『わたしの頭はいつもうるさい』が初監督作品となる。

本作 受賞歴

2024 年 第 18 回田辺・井慶映画祭 俳優賞（宮森玲実）

DIRECTOR'S
COMMENT

「生きてる中で何気なく通り過ぎていってしまった様々な思いを残す時間に光が当たるような作品になればと思い作ってました。ただただ、見て欲しいです。」

